

製品名: ハプトグロビンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87425**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:1000-1:5000,FC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:39 kDa

抗原情報

遺伝子名	Haptoglobin
別名	BP; HPA1S; HP2ALPHA2
遺伝子 ID	3240
SwissProt ID	P00738
免疫原	ヒトハプトグロビンの組み換えタンパク質

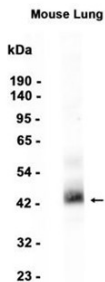
背景

この遺伝子はプレプロタンパク質をコードしており、これが処理されて α 鎖と β 鎖の両方が生成され、その後、これらが四量体とし

で結合してハプトグロビンを生成します。ハプトグロビンは遊離血漿ヘモグロビンと結合し、分解酵素がヘモグロビンにアクセスできるようにすると同時に、腎臓を介した鉄の損失を防ぎ、ヘモグロビンによる腎臓の損傷を防ぎます。この遺伝子および/またはその調節領域の変異は、無ハプトグロビン血症または低ハプトグロビン血症を引き起こします。この遺伝子は、糖尿病性腎症、1型糖尿病における冠動脈疾患の発症、クローン病、炎症性疾患行動、原発性硬化性胆管炎、特発性パーキンソン病への感受性、および熱帯熱マラリア原虫によるマラリアの発症率低下とも関連付けられています。コードされているタンパク質は、細菌に対する抗菌活性も示します。同様の重複遺伝子が、16番染色体上のこの遺伝子の隣に位置している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物変異体が見つかった。[RefSeq 提供、2014年10月]

研究分野

画像データ



ハプトグロビンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス肺組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。